

県立職業能力開発施設の概要

1 定員・訓練期間等（令和8年度）

産業技術短期大学校（矢巾校）（築29年）

訓練科	専門課程		応用短期課程 定員	訓練 期間	開始月	定員計				
	定員									
	1年	2年								
メカトロニクス技術科	20	20	—	2年	4月	40				
電子技術科	20	20	—	〃	〃	40				
建築科	20	20	—	〃	〃	40				
産業デザイン科	20	20	—	〃	〃	40				
情報技術科	20	20	—	〃	〃	40				
産業技術専攻科	—	—	10	1年	4月	10				
計	100	100	10	—	—	210				

- 新規高校卒業者を主な対象として、メカトロニクス技術科をはじめ5科において、2年課程（専門課程）の高度職業訓練を実施している。
- 2年課程（専門課程）卒業者及び在職者を対象として、産業技術専攻科において、オーダーメイドカリキュラムを取り入れた1年課程（応用短期課程）の高度職業訓練を実施している。
- 在職者を対象として、2日間程度の高度職業訓練を実施している。
- 離職者、若年者、障がい者等を対象として、職業訓練法人等の民間教育訓練機関に委託して3か月～6か月間の普通職業訓練を実施している。

産業技術短期大学校（水沢校）（築37年）

訓練科	専門課程			訓練 期間	開始月	定員計				
	定員									
	1年	2年								
生産技術科	20	20		2年	4月	40				
電気技術科	20	20		〃	〃	40				
建築設備科	20	20		〃	〃	40				
計	60	60		—	—	120				

- 新規高校卒業者を主な対象として、生産技術科をはじめ3科において、2年課程（専門課程）の高度職業訓練を実施している。
- 在職者を対象として、2日間程度の高度職業訓練を実施している。
- 離職者、若年者、障がい者等を対象として、職業訓練法人等の民間教育訓練機関に委託して3か月～6か月間の普通職業訓練を実施している。

千厩高等技術専門校（築60年）

訓練科	普通課程				短期課程 定員	訓練期間	開始月	定員計				
	中卒等		高卒等									
	定員		定員									
	1年	2年	1年	2年								
自動車システム科	—	—	20	20	—	2年	4月	40				
計	—	—	20	20	—	—	—	40				

- 新規高校卒業者を主な対象として、自動車システム科において2年課程の普通職業訓練を実施している。

宮古高等技術専門校（築53年）

訓練科	普通課程				短期課程 定員	訓練期間	開始月	定員計				
	中卒等		高卒等									
	定員		定員									
	1年	2年	1年	2年								
自動車システム科	—	—	15	15	—	2年	4月	30				
金型技術科	—	—	10	—	—	1年	〃	10				
計	—	—	25	15	—	—	—	40				

- 新規高校卒業者を主な対象として、自動車システム科において2年課程の普通職業訓練を実施している。
- 新規高校卒業者及び在職者を主な対象として、金型技術科において1年課程の普通職業訓練を実施している。
- 在職者を対象として、2日間程度の普通職業訓練を実施している。
- 離職者、若年者、障がい者等を対象として、職業訓練法人等の民間教育訓練機関に委託して3か月～4か月間の普通職業訓練を実施している。

二戸高等技術専門校（築42年）

訓練科	普通課程				短期課程 定員	訓練期間	開始月	定員計				
	中卒等		高卒等									
	定員		定員									
	1年	2年	1年	2年								
自動車システム科	—	—	20	20	—	2年	4月	40				
建築科	—	—	15	15	—	2年	〃	30				
計	—	—	35	35	—	—	—	70				

- 新規高校卒業者を主な対象として、自動車システム科及び建築科において2年課程の普通職業訓練を実施している。
- 在職者を対象として、2日間程度の普通職業訓練を実施している。
- 離職者、若年者、女性等を対象として、職業訓練法人等の民間教育訓練機関に委託して3か月～4か月間の普通職業訓練を実施している。

2 学科の概要

□産業技術短期大学校 矢巾校

メカトロニクス技術科
メカトロニクス技術科とは、メカニクス（機械工学）と、エレクトロニクス（電子工学）の技術を融合させ、機械をマイコンなどで制御し動作させる技術である。 技術革新の激しい工業界における工場のFA化やメカトロニクス機器の開発・設計・製造に対応するため「モノづくり」の機械設計・加工技術と「モノを動かす」ための制御技術・回路設計技術を基礎理論から実験・実習まで一貫したカリキュラムにより習得し、幅広い分野で柔軟に対応でき、かつ新分野も積極的に開拓できる実践的技術者を育成している。 また、実習においては企業の生産管理法を取り入れるなどし、職業意識の高揚を図っている。
電子技術科
電子回路などの基礎理論から、さまざまな電子機器を作るために必要な、マイクロ・コンピュータのハードウェア及びソフトウェアの設計・製作技術に至るまでを学ぶ。 電子回路の基礎からマイコンなどを駆使した電子機器の設計・製作までを理論学習の裏付けをもとに実験・実習を通して学び、開発・製造分野に柔軟に対応でき、将来十分に活躍できる人材の育成を目指している。 のために、技術の理論を座学で学習し、実験・実習で理解を深め、卒業研究で応用作品を制作している。
建築科
木造住宅の設計・施工の実務教育に重点を置き、実践技能技術者の育成を目指している。 生産現場における施工管理能力、設計業務における実践力を身に付けるために、建築計画・構造・施工を軸とした建築学の基礎全般にわたる知識の習得とともに、設計・施工・CAD実習・工学実験等の実技実習に重点を置いたカリキュラムで訓練を行っている。 卒業後は、直ちに2級建築士の受験資格を取得できる。
産業デザイン科
進展するITなどの先端技術に関する知識や実践ものづくりの能力を持ち、かつ独創的な発想力、豊かな感性、そして優れた問題解決能力を有する人材の育成が求められている。 このような現状を踏まえ、産業デザイン科はプロダクトコースと、グラフィックコースの2コースを設け、それぞれの分野におけるデザイナー養成を中心に、実践教育を行っている。 1年前期は基礎的学科及び実習を共通で学び、1年後期からプロダクトコースと、グラフィックコースと分かれ各分野のより専門的な知識と技術・技能の取得を目指す。 <ul style="list-style-type: none">・プロダクトコース 薦御製品及び木工・工芸品を対象としたデザインとその製作技法を習得する。・グラフィックコース 広告・印刷デザイン及びウェブデザインを対象とし、印刷物やインターネット等のメディアを活用した広告手法を中心に、視覚伝達手法を習得する。
情報技術科
ハードウェア・ソフトウェア技術の基礎の上に、システム構築、マルチメディア技術、ネットワーク構築技術等について学ぶ。 情報技術科では、コンピュータ処理を必要とする現場に対応できる技術を身に付けるため、実習を中心としたカリキュラムにより、高度情報化社会を担う「実践IT技術者」を養成することを目指し、つぎの内容を中心に、色々な技術を総合的に学習する。 <ul style="list-style-type: none">・ソフトウェア開発：Java・C言語、データベース利用法、組込みシステム等・ネットワーク技術：LAN構築、サーバ構築、セキュリティ技術等・マルチメディア技術：3次元CG、画像処理、ストリーミング等
産業技術専攻科
カリキュラムアは、大きくオーダーメイドカリキュラムと生産工学・品質保証技術の2本柱から構成され、機械・電子電気・情報分野の総合的基礎の修得、機構設計・PLC・制御に関する基礎技術を習得し、企業の中核的・リーダー的人材、開発・設計・改善ができる人材を育成することを目指している。 また、産・学連携し、講師には企業の第一線の方や大学工学部の先生も加え、肉付けとなる専門学科、専門実技が設定されている。 <ul style="list-style-type: none">・オーダーメイドカリキュラム 生産現場が実際に抱える生産工程で生じている課題を企業から聴き、個人ごとに研究テーマに設定。企業と連携した共同人材育成として問題解決に向けた生産現場力を養う。・生産工学・品質保証技術 生産システムの効率化や厳しい品質要求に対応していくための手法について実践を交えて学ぶ。 最終的には設計まで遡り改善する5源主義による改善手法を修得する。 実際の生産現場において事例を盛り込みながら、改善力と開発力を養う。

○産業技術短期大学校 水沢校

生産技術科

機械全般に関する知識並びにコンピュータを活用した金型の加工や設計など、ものづくりの技術・技能について学ぶ。

機械・電気・制御などの基礎理論のほか、旋盤やフライス盤などの汎用機械の加工技術、マシニングセンタなどのコンピュータ制御による機械などを駆使して、携帯電話・家電製品などのプラスチック部品や金属製品を作るために必要な金型を作る技術のほか、CAD/CAM/CAEなどのコンピュータによる設計・加工・解析が出来る実践技術者の育成を目指している。

電気技術科

電力システム、自動制御システム、情報通信システムなどを構築するために必要となる、電気全般に関する技術と技能を学ぶ。

電気・電子・情報の基礎理論のほか、電気設備に関する設計・施工技術や、電動機・発電機をはじめとした各種電気機器の動作原理及びコンピュータ制御に必要となるハードウェア及びソフトウェア技術を習得し、電気技術について総合的に対応できる実践技術者の育成を目指している。

建築設備科

建築空間の環境を考え、給排水設備、空気調和設備等、建築設備全般についての設計から施工技術までを学ぶ。

生活水準の向上により建築空間の社会的要請に応えるため、生活環境（空気、水、光、熱など）を考えながら、建築の専門分野、設備専門分野、設計、施工技術分野などの知識の実務教育に重点を置くと共に、設備CAD等のコンピュータを活用し、設備計画、設計、積算などが出来る実践技術者の育成を目指している。

○千厩高等技術専門校

自動車システム科

2級自動車整備士の資格取得を目標に、自動車工学、整備法、パソコン実習、法規などの専門知識や自動車整備実習などを通じて整備士に必要な技術・技能を習得する。また、近年ハイテク化する自動車に対応できる整備士の育成を目指す。

修了後の学科試験合格により、二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、二級自動車シャシ整備士の資格取得が可能である。（本科修了により実技試験免除）。

○宮古高等技術専門校

自動車システム科

2級自動車整備士の資格取得を目標に、自動車工学、整備法、パソコン実習、法規などの専門知識や自動車整備実習などを通じて整備士に必要な技術・技能を習得する。また、近年ハイテク化する自動車に対応できる整備士の育成を目指す。

修了後の学科試験合格により、二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、二級自動車シャシ整備士の資格取得が可能である。（本科修了により実技試験免除）。

金型技術科

プレス金型、射出成形金型を中心に、ものづくり分野での設計・製作に即応できる実践技術者の養成を目指し、NC加工やCAD/CAM演習など、高精度な機械加工技術を習得する。

在学中には、三級技能士（機械加工、研削盤作業、機械製図）や危険物取扱者等の取得が可能で、多くが、県内の金型関連企業に就職している。

○二戸高等技術専門校

自動車システム科

2級自動車整備士の資格取得を目標に、自動車工学、整備法、パソコン実習、法規などの専門知識や自動車整備実習などを通じて整備士に必要な技術・技能を習得する。また、近年ハイテク化する自動車に対応できる整備士の育成を目指す。

修了後の学科試験合格により、二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、二級自動車シャシ整備士の資格取得が可能である。（本科修了により実技試験免除）。

建築科

建築技能者（建築大工）に必要な器工具、機械の取り扱い、小規模住宅の設計・積算・施工管理等、建築に関する知識と技術・技能の基本から応用まで段階的に習得する。

小型車両系建築機械運転特別教育や、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、玉掛け技能講習等の建築技能者に必要な資格が取得可能で、2級技能士（建築大工職種）も取得可能である。

3 県立職業能力開発施設の授業料等

	入学料	授業料（年額）	寄宿舎料（月額）	寮費（食費等）
産業技術短大	135,400円 (県外者203,000円)	390,000円	4,300円	約30,000円
高等技術専門校	5,650円	118,800円	700～1,400円	約30,000円

4 寄宿舎の概要

施設名称	建築年月日	築年数 (R8.4.1時点)	耐用年数	構造等	男子定員	女子定員	計
産業技術短期大学校（本校）	H9.3.21	29年	60年	RC造(3階)	39～53人	16～30人	69人
産業技術短期大学校（水沢校）	H2.3.5	37年	60年	RC造(3階)	28～37人	3～12人	40人
千厩高等技術専門校	S41.1.20	60年	45年	B造（2階）	23人	0人	23人
宮古高等技術専門校	S48.6.13	53年	45年	補強CB（2階）	18人	0人	18人
二戸高等技術専門校	S59.3.28	42年	47年	RC造（2階）	40人	0人	40人
計	-	-	-	-	148人 ～170人	20人 ～42人	190人

※ 寄宿舎の許容量 190人分 ÷ 定員480人 ≒ 40% (定員の4割分の寄宿舎を用意している)

※ 短大の定員については、入寮希望状況に応じ変更している。